



平成29年10月19日

ドイツ研究振興協会日本代表部・広島大学共催シンポジウム
「The Impact of the Humanities and Social Sciences:
Discussing Germany and Japan」を開催します

広島大学は、ドイツ研究振興協会（DFG）日本代表部との共催で、「人文・社会科学の価値や影響」をテーマとした公開シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、「人文・社会科学が社会に与える影響」についての基調講演と、パネルディスカッションを行います。パネルディスカッションでは、本学の研究者を交えて、人文・社会科学の研究成果と社会との関連性や、研究成果が与える社会的・学術的影響などについて議論を行います。

近年、人文・社会科学の学術研究に対し、社会的な影響や有益性をめぐり厳しい視線が注がれ、その役割やあり方が問われております。本シンポジウムを通じて、これからの人文・社会科学の価値を社会にアピールする方法や、研究成果の評価方法について考えを深める機会にしたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】2017年11月15日（水） 9：45～11：45（開場 9：20）

【会 場】広島大学 学士会館2階 レセプションホール（東広島）
未来創生センター4階 ミーティングルーム 4-1（東千田）
※東千田はTV会議での参加になります

【対 象】人文・社会科学の研究に興味のある大学構成員（学外者・一般の方も参加できます）

【言 語】英語および日本語（東広島会場のみ同時通訳イヤホンあり）

【定 員】60名程度（東広島50名程度、東千田10名程度）

【詳細・申込み】

http://www.dfg.de/jp/aktuelles/berichte/2017/171115_hss-satellite/index.html

【プログラム】

- 9：20 開場/Open
9：45 開会・挨拶/Symposium Starts, Opening Greeting
9：55 基調講演/Keynote Speech 「Truth-Impact-Power」
講演者：Peter Strohschneider DFG 会長
- 10：25 パネルディスカッション/Panel Discussion
登壇者：Peter Strohschneider DFG 会長
Julika Griem DFG 副会長
山本 陽介 広島大学理事・副学長（研究担当）
衛藤 吉則 広島大学大学院文学研究科 教授
草原 和博 広島大学大学院教育学研究科 教授
- 11：35 総括/Summary
11：45 閉会/Close

※ドイツ研究振興協会（正式名称：Deutsche Forschungsgemeinschaft、略称：DFG）はドイツの学界最大の自治組織で、基礎研究の支援を最重要事業としており、自然科学・人文科学の分野において大学や研究機関の研究をサポートしています。日本学術振興会（JSPS）に相当する組織であり、また、日本学術会議のように、学術的な問題について議会や政府、公共機関に助言も行っています。

【お問い合わせ先】

広島大学 学術室 研究企画室（三代川・中森） メールアドレス：intconf-support@hiroshima-u.ac.jp TEL:082-424-4427/2056 FAX:082-424-4592

The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan.

広島大学・ドイツ研究振興協会(DFG)日本代表部共催 公開サテライトシンポジウム
Satellite Symposium at Hiroshima University

大学、研究における人文・社会科学系のあり方が高い関心事項となっている今、研究環境の継続と更なる展開に向け「分野」の未来について、主に日本とドイツからの研究者が意見を交わす機会として 11 月に東京で開催される、国際シンポジウム「The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan」のサテライトシンポジウムが 15 日、広島大学で開催されます。

ドイツ研究振興協会 (DFG) 会長、シュトロローシュナイダー教授による基調講演「Truth – Impact – Power」の講演会をはじめ、パネルディスカッションでは DFG 副会長グリーン教授を座長に、パネリストとして広島大学から研究理事 山本陽介先生、文学研究科教授 衛藤 吉則先生、教育学研究科教授 草原 和博先生を迎え、これからの人文・社会科学研究について、また、学術研究活動に必要な財源が公的資金で賄われる場合、その支出を何をもって「相応しい」とするのか等、人文・社会科学を通して、学術界全体の問題として「研究の評価」について皆様と一緒に考えます皆様と考えていきます。

Academic research is a costly activity, and it is neither surprising nor improper that researchers and research institutions are asked to justify their use of public funds. What calls for analysis and discussion, however, is the expectation that such justifications be framed in terms of how likely a given individual research project is to meet “societal needs” or what “societal impact” or “output” it has or is likely to have in the future. This symposium brings together Japanese and German representatives of the Humanities and Social Sciences in order to seek new insights on the meaning and effects of the discourse of “societal impact” and the connected administrative practices.

A satellite symposium of the event, "The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan" (in Tokyo from November 13th to 15th) will be held on 15th November in Hiroshima. In this symposium, there will be a keynote lecture "Truth - Impact - Power" by Prof. Dr. Peter Strohschneider, the President of German Research Foundation (DFG), followed by a panel discussion chaired by Prof. Dr. Julika Griem, the Vice President of DFG to discuss the future of research in HSS with professors from Hiroshima University, Prof. Yohsuke Yamamoto, Academic Office, Executive and Vice President, Prof. Yoshinori Etoh, Graduate School of Letters and Prof. Kazuhiro Kusahara, Graduate School of Education.



The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan.

【日 時】 2017 年 11 月 15 日（水） 9:45～11:45（開場 9:20）

【Date】 November 15 (Wed), 2017 9:45～11:45 (Open 9:20)

【会 場】 広島大学 学士会館2階 レセプションホール（東広島キャンパス）

【Venue】 Reception Hall, 2nd Floor of Faculty Club,
Higashi-Hiroshima Campus, Hiroshima University

【プログラム / Programme】

9 : 20	開場 / Doors Open
9 : 45	開会・挨拶 / Opening, Greetings
9 : 55	基調講演 / Keynote Speech 「Truth – Impact – Power」 講演者 / Speaker: Prof. Peter Strohschneider DFG 会長
10 : 25	パネルディスカッション / Panel Discussion 登壇者 / Panellists: 座長 / Chair: Prof. Julika Griem DFG 副会長 Prof. Peter Strohschneider DFG 会長 山本 陽介 広島大学研究担当理事・副学長 Prof. Yohsuke Yamamoto, Academic Office, Executive and Vice President 衛藤 吉則 広島大学大学院文学研究科 教授 Prof. Yoshinori Etoh, Graduate School of Letters 草原 和博 広島大学大学院教育学研究科 教授 Prof. Kazuhiro Kusahara, Graduate School of Education
11 : 35	総括 / Summary
11 : 45	閉会 / Close



【言 語 / Language】 英語・日本語（同時通訳あり） Jp-En simultaneous interpretation

【問い合わせ / Inquiry】 ドイツ研究振興協会 DFG 日本代表部（佐藤）

aiko.sato@dfg.de 03-3589-2508

【参加登録申込み】 <https://form.jotform.me/72617848143462>

申込はこちらの QR コードもご利用ください

